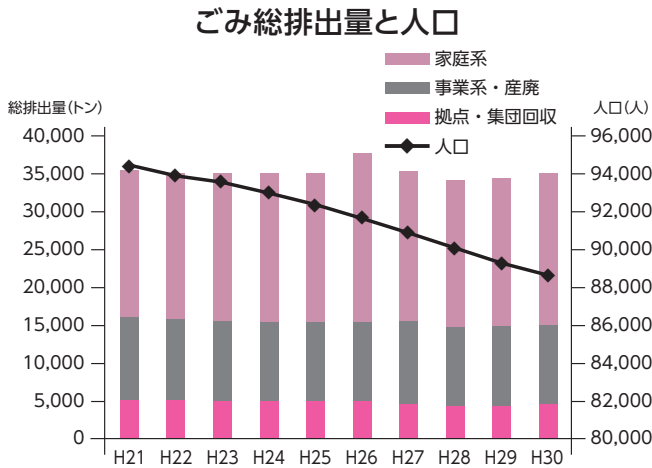


みんなで考えよう ごみ処理の現状

ごみの減量化については
市民の皆さまのご理解、ご協力が必要です
ごみの排出量の推移から
減量化への取り組みについて
できることを考えてみませんか？

高山市における平成30年度のごみの総排出量は3万5,431トンでした。これは、平成29年度の3万4,520トンと比べ、911トン上回る結果です。ただし、平成30年度は、災害ごみが805トン増加しましたので、差し引くとほとんど変わらない結果となりました。



次に、人口を比較すると、平成30年度は8万8,655人、平成29年度は8万9,328人でしたので、673人の減少となっています(人口は10月1日現在のもの)。つまり、人口は減っているものの、ごみの総排出量はほとんど変わっていないことになり、一人ひとりが出すごみの量は増加していることが分かります。

また、近年、自宅の整理を行う人が増えており、家財道具など多量のごみの搬入件数が増加しています。その際は、極力、再使用や分別に努め、少しでもごみとして処分する量を減らすようご協力をお願いします。

ごみを減らすためには
ごみの排出量を減らすためには、市民の皆さま一人ひとりの取り組みが必要です。

そこで、ごみ減量化に有効な取り組みをご紹介します。

① 水切り

生ごみには、多くの水分が含まれており、可燃ごみの重量のうち約半分は水分が占めています。

そのため、生ごみなどの水切りを徹底することが、ごみの減量化のためには非常に有効です。



② 食品ロスを減らす

食品ロスとは、本来食べられるものが食べられずに捨てられていることです。しかし、生ごみには約30%の食品ロスが混じっているとされています。

食品ロスをなくすために、宴会などで出された料理を食べきる、食べきれぬ分だけ買う、食べきれぬ分だけ作ることを生活習慣に定着させましょう。

③ プラスチックごみの削減

近年、プラスチックごみが河川等を經由して海域に流出していることが問題となっています。

プラスチックごみによる海洋汚染を防ぐため、ポイ捨て、不法投棄を行わないようにするとともに、分別の徹底などで資源化を心掛け、ごみとなるプラスチック製品の購入を控えるなど、プラスチックごみの発生抑制にご協力をお願いします。そして、使用後は、しっかりと分別して廃棄するようにしましょう。



マイバッグを持参しましょう

(出典：政府広報オンラインページより)

生活環境課 ☎ 35-33138
資源リサイクルセンター ☎ 35-1244